

光陰如箭(こういんじよぜん) 一年間(令和6年)を振り返って!!

日頃は「さち茂人」の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

令和6年ほど、忙しく、あっという間に時間が経つことは、今までなかったかと思います。「大人になるとあっという間に時間が過ぎる」と言われますが、代謝が悪いのか、頭に入ってくる情報量が増えることが原因か、53歳ともなると体感時間が短くなるのでしょう。

令和6年は4月10日、川勝知事が退職届を提出しました。ゴールデンウィーク明けから、短期決戦となる知事選挙が始まり、6月定例会では、新知事の鈴木県政がスタートしました。

8月は9月定例会での一般質問へ向けて、新知事への初質問への準備に時間を費やしました。9月議会が終了し、解散総選挙が行われ、10月27日には与党過半数割れになりました。

今も物価・燃料の高騰で生活は本当に厳しいです。思う所、いろいろあります。

世界各国の情勢が心配であり(どこも上手く行ってない)、日本国の経済・社会情勢は踏ん張りどころの7年当初です。初心を振り返り、「大好きな静岡市(県)を良くしたい!!」私の活動の根幹から、静岡県の人口減少問題に果敢に挑戦し、令和7年は伝える活動を行って、仲間をもっと増やし、熱心に自分の思いを伝える1年にしたいと思いました。

まだまだ未熟者ですが、今後とも「さち茂人」の活動に厳しいご意見と温かなご指導をお願い申し上げ、年始挨拶とさせていただきます。

令和7年もどうぞよろしくお願いいたします。

静岡県議会議員 佐地茂人



佐地議員のLINEアカウントです。
是非登録して下さい。

さち茂人の今年度の役割

- 《 議会 》
文教警察委員会
人口減少社会課題対応特別委員会
- 《 会派 》
難聴対策推進議連 会長
消防団活動支援議連 副会長
- 《 自民党県連 》
農林水産対策連絡協議会 会長
- 《 その他 》
静岡県保育推進連盟 顧問県議

9月の県議会文教警察委員会にて質疑を行いました!!

警察(公安委員会)では、

- 大里西交番が新設スタートした。地域の交番の管轄変更はどのようにして事務手続きを行うのか、また、警察署の所管手続きについてはどうか。
A. 交番管轄については、面積、事件事故の発生状況を考慮し、公安委員会規則を改正する。警察署管轄は、警察法第53条に基づき名称、位置及び管轄区域は政令で定める基準に従い条例で定める。
 - 大里西交番の人員配置と機動性を確保するパトカーの配置はどうか。
A. 大里西交番は、中島交番及び石田交番から管轄の一部を編入することで管轄面積は1.3倍となるが、管内人口は大幅に増加しないので、警察官、交番相談員の配置人員はそのままに、パトカーは配置して対応する。
 - 管轄の変更によって、交通安全指導員・地域安全推進員・防犯協会の方々が戸惑うようなことがないか心配するが。
A. 地域のボランティアの方々の関係は、管轄変更に伴い活動に齟齬がないよう、事前に根回しして特に大きな影響は今の所ない。
 - 駿河区の交番は老朽化した交番がまだまだ多く存在し、スピード感を持って新設・建て替えを望んでいる。東豊田交番と稲川交番は特に早急に計画を推進して頂きたい。交番の建て替えスケジュールはどうか。
A. 東豊田交番と稲川交番など老朽化した交番があることは承知している。地域の実情等を勘案し順次建て替えを進める。
- その他、⑤フィッシング等詐欺についてと迷惑メール対策について ⑥薬物乱用防止について ⑦交通安全対策(白線と横断歩道等)について質問しました。

教育委員会では、

- 聴覚特別支援学校に通う児童・生徒の学力向上には国語力が重要だと認識しているが、口語と手話の活用をどのように授業や指導に活かしているのか。
A. 「ロジャー」と言われるデジタル集団補聴援助システムを設置し、言葉を聞き取りやすくする。また、キューサイン(簡単な手でのサイン)や手話などでコミュニケーションをとる。実際に使いながら教員は手話を身に付ける。
- 聴覚特別支援学校に新しく赴任した先生のサポートとして、手話サポーターやボランティアの人材活用の状況はどうか。
A. 職員研修プログラムとして手話学習会を定期的開催。聾者を外部講師として招き、手話を学び、スキルを高めている。
- 聴覚障がいのある児童生徒の個別支援計画では、家庭はもとより、学校の先生の力が重要だが、現状は福祉関係者とどのように連携しているのか。
A. 言語聴覚士を年10回程度招いて、幼児、児童生徒の聞こえの状態や支援方法について研修している。
教育現場の個別の支援計画では、保護者、教員と言語聴覚士、相談支援事業所の担当者等に参画頂き、卒業後を見据えた支援の充実を努める。
- 手話ができる等の専門能力を加えて、教員採用試験を行ってどうか。
A. 今年度実施した採用選考試験から、理学療法士、作業療法士の他、言語聴覚士の経験を持つ専門性の高い方を採用する取組を始めた。との答弁がありました。



大里西交番が新設されました

県議会 9 月定例会にて質問を行いました！！

新知事になり、初めての質問を本会議場にて、正々堂々と行いました。浜松市や西部地区のことに詳しい鈴木知事と県当局に、静岡市や中部地区、県政における喫緊の課題等について、10 項目の質問をさせて戴きました。



1) 清水港及び駿河湾のブルートランスフォーメーション（*）について

Q. 県は、海洋関連産業の振興と創出に向けて、静岡市と共同申請した計画をどのように進めていこうと考えているのか。また、清水港長期構想で海洋研究拠点に位置付けられた貝島地区について、海洋研究拠点化に向けてどのように取り組んでいくのか。

A. 鈴木知事からは、海洋データや微生物情報等を集積したデータベースの拡充や県内外のスタートアップ、地域企業等と連携して進める研究開発及び事業化支援のさらなるスピードアップ、食品、農業など先端産業創出プロジェクトとの連携強化などにより、県の「MaOI（まおい）プロジェクト」の一層の加速化を進めていく。

新たに静岡理工科大学と静岡大学が共同で設立する研究機構で海洋データの分析や、新設予定の修士課程「海洋 DX コース」で人材育成、水産業のスマート化やブルーカーボンに関する共同研究開発など、市が主導する取組と連携する。

貝島地区の海洋研究拠点化に向けた取組では、まずは研究船や探査船が長期に係留できるように岸壁の整備や背後の土地造成を進めている。今後、市や地元関係者の意見を聞きながら、国内外の海洋スタートアップや研究機関等の誘致など、海洋研究拠点化の実現に向け取組を着実に進めていく。

（*）ブルートランスフォーメーション（BX）とは、海洋国家である我が国が、国の有利な地勢を最大限に活用し、養殖等の食料システムの可能性だけでなく、海洋エネルギーや藻場の活用等のいわゆるブルーカーボン（BC）と海底の表層、中深層、深海層といった海層や海流と断層、地質に加え、微生物等のサイエンスの研究と海底資源の保全・活用、更に海洋に関する技術開発、新産業創出や雇用等による経済成長、いわゆるブルーエコノミー（BE）といった海に関する様々な方面から持続可能な社会の実現を目指すこと

2) 南アルプスユネスコエコパークでの取組と世界自然遺産について

Q. 南アルプスは、ユネスコエコパークに登録され、今年で 10 周年を迎えている。県のさらなる踏み込んだ協力・支援体制が望まれるが、本県の取組はどのようになっているか。また、南アルプスの世界自然遺産への登録に対して県はどのように考えるか。

A. ニホンジカの食害を防止するための柵の設置、来訪者を増やすために魅力を伝える動画配信、静岡駅と榎島ロッジを直接結ぶ観光タクシーの運行等に取り組む、今後も取組の輪を広げていく。世界自然遺産については、南アルプス自然環境保全活用連携協議会では、評価基準の達成に寄与する知見等の情報収集を継続し、ユネスコと国の動向を注視していくこと。県としては研究助成等を通じて知見を蓄積し、情報提供しつつ同協議会の取組を支援していく。

3) リニア中央新幹線整備に伴う発生土処理について

Q. 静岡工区のトンネル工事は最低でも 10 年はかかると言われているが、「トンネル発生土」に関する対話項目について、具体的にどのようにスピード感を持って、JR 東海と解決に向けた対話を進めていくのか。

A. ツバクロ発生土置き場では直下に断層がある可能性が判明し、この断層の特性を確認し、影響を予測した上で、立地の妥当性を対話していく。対話に着手していない 2 項目のうち、「自然由来の重金属等を含む要対策土の処理」は、県の盛土等の規制に関する条例の適用除外に関し、相談があった際には適用除外の要件となる許認可等の手続において認められた事業区域や管理の継続性の担保について、具体的に説明を行い、丁寧に対応していく。「トンネル発生土」は、市の協議会で議論が完了した項目のうち、県専門部会委員の了解を得られたものについては、対話を完了とするなど、課題解決の迅速化を図っていく。

4) 介護サービス事業所の生産性向上について

Q. 国の介護生産性向上推進事業では、県が主導のもと、介護人材の確保・処遇改善、介護ロボット等の導入、介護現場の革新、生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的・横断的に一括して取り扱い、適切な支援につながるワンストップ型の総合的な相談センターの設置を求めている。本県でも早急に設置すべきではないか。

A. 慢性的な人材不足の状況にある介護現場における生産性向上の取組に対する支援を戦略的かつ体系的に進める必要がある。そこで、効果的に支援事業を展開する介護生産性向上総合相談センターを令和 7 年度を目途に設置する。今年度、介護現場革新会議を立ち上げ、センターの運営方針を検討していく。

5) 今後の地域における高校の在り方検討の進め方について

Q. 急速な少子化による公立高校再編は待たなしであり、普通高校の再編だけでなく、新たな時代にふさわしい専門高校の設置など時代が要請するこれからの公立の役割を早期に考える必要がある。県教委は地区ごとに高校の在り方を示すグランドデザインを作成し、地区別実施計画（静岡市は今年度から）を順次策定しているが、基本計画（高校再編・統合）を踏まえた、今後の地域における高校の在り方検討の進め方について伺う。

A. 今後の県立高校の学びは生徒ファーストで「行きたい学校」の実現に向けて学科・コースの新設や改編、カリキュラムの充実に努めていく。実学系の学びも ICT・AI など、今後の社会における基幹的な技術や、地域産業が求める知識や技能を有する人材の育成を進める。中長期的には適正規模（240 人～320 人）の学校へ再編を確実に進める。

その他、6) 少子化対策について「出会い・結婚・出産への力強いサポート」、7) 静岡県の将来の高等教育について（大学・高専学校・専門学校等の再編）、8) 夜景を活用した観光誘客について、9) 第 2 期公共施設等総合管理計画について、10) 静岡南警察署の建て替えについて質問しました。

令和 7 年 3 月 24 日から

マイナンバーカードと運転免許証が一体化します!!

マイナ免許証の申請等は窓口開庁時間帯なら、いつでも可能（新規取得・免許更新と同時に申請も可能）

申請場所：免許窓口がある警察施設（免許センターや静岡南警察署等の免許窓口）

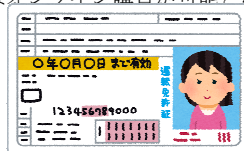
所有方法：①免許情報をマイナの IC チップに記録したマイナカード（マイナ免許証）1 枚持ち

②従来の免許証 1 枚持ち（マイナカードの所有は任意）

③マイナ免許証と従来免許証の 2 枚持ち

手数料：保有方法によって細分化 新規取得の場合は 1,550～2,450 円 更新の場合は 2,100～2,950 円

その他：マイナ免許証所有者で優良・一般運転者の場合はオンライン講習が可能となる



編集後記

今年は夏が長く、秋が一瞬で終わったと感じているのは私だけでしょうか？

昨年も書きましたが、本当に日本も四季を感じなくなり寂しくなりましたね・・・

今年の冬はラニーニャ現象の影響で、昨年より寒くなる予想と聞いております。

インフルエンザが流行る季節ですので、皆様もお体には気を付けてお過ごしください。

令和 6 年 12 月吉日発行

発行責任者 林 稔久

編集担当 上條、小泉、島村、田中

静岡市駿河区八幡 5 丁目 14-13

TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096